

## 公益社団法人日本技術士会北海道本部と連携・協力協定を締結

企画室

平成23年11月7日、「独立行政法人土木研究所寒地土木研究所と公益社団法人日本技術士会北海道本部（以下、「技術士会」という）との連携・協力協定」（以下、「連携・協力協定」という）を締結しました。

「連携・協力協定」は、技術士会と当研究所との包括的な連携の下、相互に連携・協力することにより、研究成果や技術を地域に還元するとともに、地域の技術力向上を支援し、良質な社会資本の効率的な整備、地域の防災・減災及び産業育成並びに科学技術の振興に資することを目的として締結されました。

連携・協力事項には、表-1に示すとおり地域防災等技術の向上をはじめ、地域の技術者の育成、科学技術の振興などが掲げられました。具体的な取り組み内容としては、防災セミナー等の各種セミナーや講演会、道内各地での技術者交流フォーラム、地域の技術者の技術力向上のための講習会等の開催のほか、一般市民の方々や子供たちに科学技術への興味を高めてもらうための啓発活動なども想定され、多岐にわたる内容で連携・協力を図っていくこととしています。

寒地土木研究所講堂で行われた連携・協力協定の調印式では、双方の出席者の紹介の後、川村和幸寒地土木研究所長と斉藤有司技術士会北海道本部長により協定書への署名及び協定書の交換が行われました（写真-1）。

その後、双方から挨拶の言葉が述べられ、川村所長からは、両機関はこれまで道内各地で開催してきた技術者交流フォーラムや東日本大震災を踏まえた意見交換会の開催など、様々な分野で交流を重ねてきたことに触れた上で、「この度の連携・協力協定の締結により、両機関の連携・協力関係をさらに強化し、地域の安全・安心や産業の発展に貢献していきたい。」と挨拶しました。

これに対し、斉藤本部長は、我が国の技術士制度について分かり易く紹介された後、「科学技術を通じた両機関の連携・協力により、地域への社会貢献の道が強化される。」との期待感を表明されました。

今後、技術士会と当研究所の連携・協力関係の発展により、地域が直面する困難な技術的課題の解決や技

術者の育成に寄与するとともに、科学技術の振興に向けた様々な取り組みが期待されます。

（文責：星 卓見）

表-1 協定に基づく連携・協力の内容

項目	概要
地域防災等 技術の向上	・防災セミナー等の各種セミナー・講演会の開催 ・地域防災等の技術的課題に関する意見交換会の実施 など
地域の技術者 の育成	・道内各地での技術者交流フォーラムの開催 ・地域の技術者の技術力向上のための講習会等の開催 など
科学技術の 振興	・科学技術への興味を高める一般・子供向けの啓発活動（各種科学展等でのイベント協力等） ・研究成果普及のための各種イベント等における協力（土研新技術ショーケースでの協力等） ・地域防災力向上に向けた防災教育における協力 など



写真-1 握手を交わす川村所長(左)と斉藤本部長(右)